

## 五條市消防団の組織づくりについて 田園地区消防団の設立について

**議員** サラリーマンの多い田園地区に消防団は成り立つのか。また、田園地区内に居住している他の分団の消防団員は、この消防団に入ってくれるのか。

**消防長** 現在、市の消防団員五百十九名のうち二百六十八名がサラリーマンであり、年齢制限等の資格要件が定められているが居住地が市内であれば資格要件に該当するもので、サラリーマン団員が多数を占めても、組織を七ブロックに分けて災害初期から方面隊組織としての出動体制を確保していくものである。また、分団内の異動も双方の分団長が了解すれば可能と考えているが、災害発生時には当然として消防団精神に基づき協力していただけるものと考えている。

**議員** 応募があつて消防団が組織できたとして、実際に火事が発生したときに消防団員がいなくときを心配する。

**消防長** 責任者の分団長が団員の勤務先を把握し消防本部に連絡をすることになっているが、現在、田園地区は岡地区の消防団が、あづみ台となつみ台地区は牧野地区の消防団がそれぞれ管轄するという区域になっており、災害発生時には、災害の規模により隣接する消防団や方面隊で出動初期の段階から対応してまいり

たいと考えているもので、サラリーマン団員が五十一パーセントを占めている現状では、どの地区もそのような出動体制を考えている。

**議員** 団員数は、分団を田園地区とあづみ台地区の二部に分けて、それぞれ十五名ずつの合計三十名になるのか。

**消防長** 分団としては一つの分団であるので、市の分団の平均団員数である三十名という中で、田園、あづみ台の各自治連合会長から消防団設立の要望書が提出されたことから、一部と二部で十五名ずつという形である。

**議員** 消防格納庫設置場所、消防団員の報酬、分団運営費等について聞きたい。

**消防長** 消防格納庫は、市所有地の三か所程度の中で検討している。報酬は団員が年三万円、分団長は年七万円。消防ポンプ管理費、消防格納庫管理費等で平均額は年四十万円程度である。

**議員** 田園地区には防災協会しかなく、

消防団ができたなら安心できるので立派な消防団を作っていたきたい。

## 都市計画について

**議員** 五條駅前整備計画等の事業停滞の原因及び将来のまちづくりのビジョン。また、計画時から今までに投入してきた費用の総額について聞きたい。

**都市整備部長** 五條駅前は市の玄関口で

もあり、今般の五條市の活性化のために早急な整備が必要であると考えられる。

そのため平成六年度から駅舎、駅前広場、南北連絡道構想についての測量基本設計計画ルート比較検討等の業務委託料として四千二百六十七万円を執行し、各種検討を行っている。平成二十年度には、JR西日本と協議を行い、市の方針として優先的に計画したいのは南北連絡道であることも確認し、まず周辺の土地調査から行うこととした。現在、五條駅周辺では国土法に基づく地籍調査を進めており、平成二十四年度には完了することから、今までの計画案について再確認を行うためにも地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会に諮り、慎重な検討を行ってまいりたいと考えている。

## 教育長の教育方針及び 不登校児童等の対応について

**議員** 教育長の教育方針と不登校児童等の対応について聞きたい。

**教育長** 歴史と自然に恵まれた素晴らしい環境の中で、子供たちが大きな夢と目標を持って自立的に生きる基礎を培えるよう、確かな学力、体力、豊かな心の育成を目指し、責務を精一杯果たしてまいりたい。不登校児童・生徒、落ち着いて授業を受けられない児童・生徒等への対

応については、県や市のスクールカウンセラーの学校への派遣、スクールサポーター等の配置を始め、家庭訪問や適応指導教室の実施など状況に応じた支援を行っている。

## 定期監査結果報告の 総括に対する対策について

**議員** 監査報告書には建設的な意見がいろいろ述べられているが、これをどのように市政に反映させていくのか。

**市長** 市長就任以来、職員の意識改革や事務事業の見直しなどに取り組んできたが、監査委員からの指摘事項を順守するとともに今後とも魅力あるまちづくりのため行財政改革にまい進してまいる所存である。

